



大野一心

NO.53

(最終号)

令和5年3月21日(木) 文責：校長 諸熊 修一

2023 (令和5) 年度 ありがとうございました

3月14日(木)に卒業式を挙行了しました。今年度の卒業式は多くのご来賓のご臨席を賜り、全学年を入館させての式としました。多くの方々から見守られて卒業式を挙行できたことに改めて感謝申し上げます。

卒業式に向けての会場設営・後片付けや清掃など一生懸命に頑張った1年生、2年生の皆さん、本当にありがとうございました。そして、入退場等の演奏を担ってくれた吹奏楽部の皆さん、ありがとうございました。皆さんの温かい気持ちは十分に伝わり、卒業生も感謝していることだと思います。



さて、明日が「修了式」です。明日は1年間の学校生活を総括する日です。この1年間、全員が、様々な体験をし、身体も心も成長しました。その成長を進級したそれぞれの学年で更に伸ばして欲しいと思います。明後日からは、年度と年度の接続の時期である春休みに入ります。そして、春休みが終わると、全員が進級し、新1年生が入学してきます。次の学年に進級する前に、自分自身の良いところと弱いところを見つめ直し、次の目標に向かってまた頑張っていきましょう。

今号が今年度最後の「大野一心」になりました。地域や保護者の方々からは、学校だよりをいつも楽しみに拝見しているというご意見を様々なところでいただき、とてもうれしく思っています。特に「校長のひとりごと」を介して、子どもとの会話が弾んでいるというご意見には、とてもありがたく思いました。一年間頑張った甲斐がありました。今年度は、大谷選手のホームラン記録を大幅に更新して、これまで私が発出した「学校だより」の中では、一番多い発行部数になりました。来年度も頑張って学校の様子や私の思い等を伝えていきたいと思えます。

今年度の保護者及び地域の皆様の本校教育へのご理解とご支援に心から感謝申し上げます。

次年度もどうぞよろしくお願い致します。



【裏面へ】

令和5年度人事異動に伴う転出教職員について

令和5年度の人事異動に伴って以下の教職員が退職・異動いたします。長い職員で6年間、短い職員で1年間でした。本当にお世話になりました。職員を代表してお礼を申し上げます。

No	職名	氏名	異動先	No	職名	氏名	異動先
1	教頭	鶴田 高頭	大村市立西大村中学校 (副校長として)	9	主幹 教諭	新名 信行	佐世保市立大野中学校 (教頭として)
2	教諭	松本 優利香	佐世保市立宮中学校	10	講師	柄本 正敏	退職
3	教諭	梶永 玲子	佐世保市立山澄中学校	11	講師	小船 由香	退職(新採:小佐々中)
4	教諭	小村 京子	佐々町立佐々中学校	12	講師	石橋 真瑚	退職(新採:日野中)
5	養教	山見 香澄	長崎市立三重中学校	13	非講	松永 玲子	退職
6	事主	松村 奈津紀	新上五島町立上五島中学校	14	特補	松永 友希	退職
7	教諭	大川 健	【海外派遣】シンガポール 日本人学校	15	特補	嬉野 優子	退職
8	教諭	深江 大翼	退職				

- ※ 養教:養護教諭
- ※ 非講:非常勤講師
- ※ 特補:特別支援教育補助指導員

上の表を見て、{あれっ?} と思った方もいたと思います。そうです。百合永先生が2月にご結婚されて、山見という姓に変わりました。おめでとうございます!

今年度最後の校長のひとりごと

卒業式も素晴らしかったのですが、前日の同窓会入会式終了後の出来事も印象的でした。「3年生最後の学年集会をします」という新名学年主任の挨拶の後、3年職員からの歌のプレゼントがあり、その後、福田先生が作成した3年間の思い出のスライドや旧担任及び旧副担任の先生方からのビデオメッセージが流されました。また、昨年度まで副担任だった現在青少年教育センターに勤務の若杉先生にも来校していただき、子どもたちに直接お祝いの言葉をかけていただきました。このような3年職員のサプライズに、昔を思い出して大笑いする生徒、感極まって涙する生徒など、とても心温まる時間となりました。このような企画をしてくれた3年職員に校長として感謝するとともに、改めて先生方と子どもたちとの絆を感じた時間にもなりました。

4月からは卒業生だけではなく、在校生も職員も新しい出会いがあり、新しいスタートです。それぞれがそれぞれの場で活躍してくれることを願っています。

私の方とは言う、妻と二人きりの生活が2年目に突入します。私は、自分で言うのもなんですが、食べるのがとても早いです。妻は仕事から帰ってきて、すぐに食事の用意をしてくれるのですが、私は晩酌をしない時には、夕食をあっという間に平らげてしまいます。妻の名誉のために言っておきますが、料理の品数が少ないわけではありません。妻からは「もっと味わって食べてください。こっちは疲れて帰って来て、作ってあげているのに!」と言われてしまいます。「あげているのに」ということばに「ムッ」としながらも、言い返すと明日からは作ってもらえないと思い、ここは「ぐっ」と我慢します。そして、少し顔を引きつらせながらも満面の笑みで「美味しくてつつい早く食べてしまうんだよね」と言いながら、諸熊家の平和な一日は終わっていきます・・・。

とりとめのない、どうでもいい話を毎回読んでいただきありがとうございました。今年度の「校長のひとりごと」を終わります。完